

PTA活動紹介		部門	特別支援
学校名	愛知県立いなざわ特別支援学校		No 1
活動テーマ	地区別懇談会		
開催日	平成27年9月3日(木)、18日(金)、25日(金)、28日(月)		
場所	清須市総合福祉センター(3日)本校会議室(18日)尾張中部福祉の杜(25日) 一宮地場産業ファッションデザインセンター(28日)		
時間	午前10時から正午まで(28日のみ午前9時30分から正午まで)		
参加者	保護者及び福祉事業所	内訳	3日 保護者18名 18日 保護者47名、13事業所、1企業 25日 保護者22名 28日 保護者46名、18事業所
趣旨	いなざわ特別支援学校に通う児童生徒の居住地区(稲沢市、一宮市、清須市、北名古屋市、豊山町)ごとで相談支援状況の違いや障害福祉サービスの格差がある。各地区ごとで相談会を実施することで、保護者がそれぞれの居住地における体制等について知るとともに、居住地区の福祉事業所の方と直接話をして具体的な活動内容等について聞き、相談することにより、卒業後の進路選択に役立てる。		
活動ポイント	卒業後の進路選択に向けて情報を収集する。		
主体委員会名・講師名等	3日 講師:多機能型事業所とけいだい 所長 石井 洋子氏 18日 アドバイザー:障がい者基幹相談支援センター 増山 ゆかり氏 25日 アドバイザー:前尾張中部圏域相談支援体制整備地域アドバイザー 高井 富夫氏 尾張中部圏域相談支援体制整備地域アドバイザー・相談支援センター 一尾張中部福祉の杜 所長 玉井 一男氏 28日 アドバイザー:一宮市障害者相談支援センター 野崎 貴詞氏		

【各地区別懇談会の様子】

1 清須市総合福祉文化センター(9月3日 清須市)

講演 「卒業後の進路に向けて～地域の障害福祉サービスの現状～」

(1) 障害福祉サービスについて

- ア 障害者総合支援法について
- イ 障害者の福祉サービスについて
  - ・「児童福祉法」に基づいて
  - ・「障害者総合支援法」に基づいて
- ウ 障害福祉サービスの利用申請及び支給決定について
- エ 障害福祉サービスの利用方法について
- オ 障害福祉サービスの具体的内容
- カ 卒業後の自分らしい暮らし方について



(2) 『とけいだい』の相談支援活動について

スライドや動画を交えながら、『とけいだい』が支援している方たちの様子の紹介があった。

2 本校会議室(9月18日 稲沢市)

各事業所のブースを用意し、参加した保護者が興味のある事業所のところへ行き、担当の方と直接話を進めた。稲沢市内の企業も一社参加し、相談に加わっていただいた。また、稲沢市社会福祉協議会の方をアドバイザーとし、日頃保護者が抱えている疑問点や相談に対応していただけるようにした。

参加された保護者は多くの福祉事業所の方と話し、終了予定時刻後も熱心に相談をする様子が多く見られた。



3 尾張中部福祉の杜(9月25日 北名古屋市・豊山町)

参加した保護者がアドバイザーと車座になり、高井氏からは今までこの地域で支援を進めてきて感じたことや保護者に伝えたいことを話していただいた。また、ざっくばらんな雰囲気の中で、日頃保護者が抱えている悩みごとや要望、また、子どもの発達や卒業後のこと、福祉サービスに関することなど多岐に渡り相談が行われた。



4 一宮地場産業ファッションデザインセンター(9月28日 一宮市)



稲沢市同様、ブースを用意し、参加した保護者が興味のある事業所の所へ行き、担当の方と直接話をする方法をとった。内容としては、事業所の活動内容や活動時間、作業製品の紹介などが行われた。また、実際に作業製品を提示したり参加者向けに販売したりした事業所もあった。就労移行支援事業所、就労継続支援A型・B型、生活介護の事業所などのグループごとにコーナーを設置し、参加した保護者がコーナーを回りやすいように配置して相談できるようにした。トータルアドバイザーとして一宮市障害者相談支援センターの方にも参加していただき、どこに相談すればよいのかや、制度や利用方法等のアドバイスもいただいた。



5 保護者の感想

- ・ 事業所の情報を得るだけでなく、アドバイザーに制度等について相談できて良かった。
- ・ 福祉サービス事業所を利用するためには、親の会の活動に参加するとよいと聞いているが、いつから活動に参加するとよいかなど具体的な話を聞けたのは良かった。
- ・ 数年前に比べ、利用できる事業所の数が随分増えており、子どもや家庭の状況に応じて選んで利用できるようになった。
- ・ 小学部段階から進路を見据えていきたいので、福祉サービス事業所についてのアドバイスがしてほしい。
- ・ 直接事業所の方と相談をすることで、利用したいというニーズが伝わるので、良い機会であった。
- ・ 就労に向けた力を付けることは小学部段階から必要であることが分かった。そして、それは普段の生活の中で身に付けていけることであると感じた。また、ただ、力を付けることだけを考えて子どもに接するのではなく、子どもらしく楽しめる経験もたくさんさせてあげたいと改めて感じた。
- ・ 市町ごとに行ったため、家から近い場所で開催され、参加しやすくてよかった。

PTA役員からは、「来年度以降もこの活動を続けていきたい」という声が上がっている。

PTA活動紹介		部門	特別支援
学校名	愛知県立港特別支援学校	No	2
活動テーマ	文化祭の中で行うPTAバザーと喫茶コーナー		
開催日	平成27年11月7日(土曜日)		
場所	本校光庭(ひろば)及び調理室		
時間	午後1時から午後2時30分(バザー)、午前9時30分から午後2時00分(喫茶コーナー)		
参加者	保護者、近隣地域住民など		
趣旨	PTA活動事業の中の大きなイベントです。小学部から高等部まで、12学年の壁を越えた保護者同士の交流をしながら、アイデアを出し合い活動しています。バザーや喫茶コーナーの売上金の一部は、児童生徒に還元できるような品物を計画的に購入しています。現在は、毎年防災用品等を少しずつ買い足しています。		
活動ポイント	保護者の方々の団結力がうかがえます。和やかな雰囲気、楽しそうに準備作業をすすめられることに微笑ましさを感じられます。		
主体委員会名・講師名等			
<p>毎年、バザー収益が約20万円ほど出ます(今年度の売り上げは197,536円)。その中から、本校に特に必要な防災用品等を少しずつ購入し、いざというときに役立てたいと考えています。</p> <p>バザーの売上金を利用して、主に購入した品物</p> <p>【平成26年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯用トイレ</li> <li>プラスチックメガホン</li> <li>・防寒保温シート(50枚)</li> <li>・保護帽</li> <li>・防災ずきん</li> <li>・非常食セット</li> <li>・卒業証書ホルダー</li> <li>・卒業生胸花 など</li> </ul> <p>【平成27年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災用背負い搬送具</li> <li>防災ずきん</li> <li>防災用トイレセット</li> <li>プラスチックメガホン</li> <li>・サバイバルシート</li> <li>・卒業証書ホルダー</li> <li>・卒業生胸花 など</li> </ul> <p>今後も児童生徒のために、PTAバザーがんばります。</p>			
		 <p>【バザーの様子】</p>	
		 <p>【喫茶コーナー】</p>	
メール送信先	<a href="mailto:info@aichikoupren.org">info@aichikoupren.org</a>		



PTA活動紹介		部門	特別支援															
学校名	愛知県立名古屋盲学校	No	3															
活動テーマ	PTA研修会																	
開催日	平成27年8月25日(火)																	
場所	世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ(岐阜県各務原市)																	
時間	9時30分～15時																	
参加者	幼児児童生徒と保護者及び家族 35名 内訳 (幼児児童生徒16 保護者及び家族17 教員2)																	
趣旨	PTA会員相互の親睦を深めるとともに、夏季休業中の幼児児童生徒の体験活動の一つとなるように計画した。																	
活動ポイント	年齢差の幅があるため、誰もが楽しめる場所を選ぶ。わかりやすく、体験を重視した活動とする。部を超えて、保護者同士も交流が深められるようにする。																	
主体委員会名・講師名等	PTA事業委員会主催																	
1 活動日程	<table border="0"> <tr> <td>9時30分</td> <td>学校集合</td> <td rowspan="15"></td> </tr> <tr> <td>9時40分</td> <td>学校出発(大型借上げバス1台)</td> </tr> <tr> <td>10時30分</td> <td>世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ、到着</td> </tr> <tr> <td>11時</td> <td>世界淡水魚園水族館の概要説明 生き物を触る体験学習(ナマズ、クサガメ)</td> </tr> <tr> <td>11時30分</td> <td>水族館見学、昼食及び自由行動</td> </tr> <tr> <td>14時</td> <td>世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ出発</td> </tr> <tr> <td>15時</td> <td>学校着</td> </tr> </table>			9時30分	学校集合		9時40分	学校出発(大型借上げバス1台)	10時30分	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ、到着	11時	世界淡水魚園水族館の概要説明 生き物を触る体験学習(ナマズ、クサガメ)	11時30分	水族館見学、昼食及び自由行動	14時	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ出発	15時	学校着
9時30分	学校集合																	
9時40分	学校出発(大型借上げバス1台)																	
10時30分	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ、到着																	
11時	世界淡水魚園水族館の概要説明 生き物を触る体験学習(ナマズ、クサガメ)																	
11時30分	水族館見学、昼食及び自由行動																	
14時	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ出発																	
15時	学校着																	
2 体験学習	<p>水族館担当者2名による全体説明の後、一人一人が説明を受けながらナマズとクサガメに触れて観察した。</p> <p>(1)ナマズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体長15センチメートル</li> <li>・体の形状が一般的な魚と異なっている。頭が平らになっている。</li> <li>・体表がぬるぬるしている。</li> </ul> <p>(2)クサガメ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体長20センチメートル</li> <li>・甲羅は硬い。</li> <li>・触ると特徴的なくさいにおいがする。</li> </ul> 																	
3 まとめ	<p>水族館は視覚障害者には触れて理解できる場所が少ないといわれているが、説明を聞きながら一人一人が体験できたので好評であった。また室温の違い、鳥などの鳴き声や滝など音を感じる場所があり、その状況は把握することができた。また、点字の表示や触れる展示物もあった。15分程度のアシカショーなどが1日に4回開催されているので、自由行動時間にショーを観覧する人たちもいた。天候が雨天となり、屋外にある体験できる噴水や迷路、アスレチックの活動ができなかったのが残念であった。移動時間や年齢差を考慮すると、場所の選択は難しいが、今回は借り上げバスで移動するにはちょうど良い距離であった。行きバスでは、自己紹介やカラオケなどもでき、和気あいあいと楽しむことができた。</p>																	
<a href="mailto:info@aichikoupren.org">info@aichikoupren.org</a>																		

PTA活動紹介		部門	特別支援
学校名	愛知県立千種聾学校	No	4
活動テーマ	手話学習会		
開催日	平成27年11月16日(月)		
場所	愛知県立千種聾学校 会議室		
時間	10:00~11:00		
参加者	幼稚部保護者16名、小学部保護者9名		
趣旨	聾学校では、手話は授業はもとより生活のあらゆる場面で使用している。それは、家庭においても同様である。しかし、保護者が手話を学ぶ機会は意外に少ない。特に、聾学校の幼稚部や小学部の低学年の保護者は子どもの送り迎えや学校の指導場面を参観する機会が多いので、学校にいる時間が長く手話を学ぶ時間があまりない現状である。 そこで、学校において手話を楽しく学ぶ「手話学習会」をPTA主催で行っている。講師を聴覚障害のある保護者にお願ひし、身近な話題を中心に手話でやりとりする中で、比較的自然に手話が身に付くように工夫している。		
活動ポイント	「学習会」という活動であるが、普通の何気ない会話に手話をつけることで、自然に手話を覚えられ、個々の手話のレベルや子どもの年齢に関係なく、みんなで楽しめることに重点をおいている。		
主体委員会名・講師名等	研修委員会		

活動内容  
保護者の手話のレベルはさまざまである。手話は必要ないという保護者もいる。初心者でもはずかしくなく、上手な人にも興味深い内容を考え実践した。

- ① 手話の読み取り  
講師に声を出さず手話だけで話をしてもらい、内容を読み取る  
↓  
わかった所だけ答えてもらう  
↓  
わからなかった所などを講師に解説してもらい、正解をみんなで確認する



\* 話したい内容を手話で表現する際には、簡単な文章に直したり自分の手話のレベルに合わせた手話表現に変えて表現したりするなどでき、習得が比較的容易にできる。しかし、手話の読み取りについては、一人一人の表現にくせがあったり知らない手話表現が使われていたりするなど難しい面が多い。そのため、本研修会では、手話の読み取りを取り入れ、少しでも読み取りの力量をアップさせたいと考えた。

<感想>  
手話の読み取りでは、講師の方に”学校におぼけがいる?! 話”や”休日の話”、”家族の話”など身近な話題で話してもらったので、参加者も楽しみながら「話を聞く(見る)」ことができたと思う。

- ② 手話ソング「世界にひとつだけの花」  
講師に、歌詞を順に一つ一つ表現してもらい。  
↓  
疑問に思う手話表現や歌詞の解釈について、みんなで意見を出し合う。



例1) 一生懸命になればいい  
”いい”には、2つの表現(良いと構わない)があり、この場合の”いい”はどちらがぴったりくるか。

例2) ずっと迷っている人がいる・ やっと店から出てきた(人)  
この”人”を”女性”の手話で講師は表現したが、男性ではないか。  
↓  
みんなの意見や考えを聞き、手話表現を講師が決める。  
↓  
何度か通しで練習して、曲を流して合わせてみる。



\* 手話が苦手、難しいと思う人にも参加してもらいやすいように、みんなに親しみのある曲を選んだ。気軽に参加してもらいながらも、歌詞の内容に合った適切な手話表現と一緒に考えることで、少しでも手話に親しんでもらえるような内容にした。

<感想>  
手話ソングは、初めて実施したが、楽しかったという意見が多く、好評だった。歌詞をそのままダイレクトに表現せず意味を考えて適切に表現するという点はとても興味深かった。迷う表現を参加者(健聴者)と講師、みんなで意見を出し合えてよかったと思う。



PTA活動紹介		部門	特別支援
学校名	愛知県立半田特別支援学校	No	5
活動テーマ	学校祭におけるPTAコーラス活動		
開催日	平成27年11月27日(土)		
場所	愛知県立半田特別支援学校 体育館		
時間	午前9時45分から9時55分		
参加者	小学部第1学年保護者 14名 PTA役員 17名 有志会員 3名 合計 34名		
趣旨	本校では毎年11月に学校祭を行っており、地域にも公開している。児童生徒による劇やイベントの発表の他に、地域の福祉施設やボランティアの方々の協力によってふれあいコーナーを設け、クレープや焼き菓子などの販売もしている。また、学校祭におけるPTAコーラスは、30年近く続く伝統的なイベントである。これは、当時の保護者が、学校祭にPTAとして何かの形で参加し、児童生徒と一緒に盛り上げたいという思いを抱き、全校児童生徒が集まるオープニングのステージでの合唱の発表を行なうことになったと聞いている。その思いは年々、次のPTAに引き継がれ、発表の内容も充実してきている。特に、小学部第1学年の保護者が中心となって行うことで、入学してまだ学校に慣れない保護者同士の結束力を高め、また、初めて学校祭に参加する小学部第1学年の児童にも安心感や意欲をもたせるよい機会となっている。		
活動ポイント	小学部第1学年のPTA代表委員を中心として計画や準備を行い、PTA教養研修部の部員や他のPTA会員の協力を仰ぎながら、児童生徒と一緒に楽しめるような内容の発表にする。		
主体委員会名・講師名等	本校PTA常任委員会及び教養研修部		
1 準備日程			
(1) 4月中旬 PTA新旧合同委員会(新旧のPTA役員による引き継ぎ会)にてPTAコーラスの実施依頼			
(2) 9月初旬 前年度の映像を基にPTAコーラスの流れや内容を、小学部第1学年保護者に説明			
(3) 10月初旬より準備や練習開始			
ア 小学部第1学年保護者を中心に特別教室での準備や練習 … 5回 (当初の計画では3回だったが、保護者の希望で追加された)			
イ 小学部第1学年保護者を中心に体育館での練習(リハーサル含む) … 2回			
ウ PTA役員及び有志会員による体育館での練習(リハーサル) … 1回			
(4) 10月中下旬 PTAコーラスへの参加依頼文を全会員に配付			
2 準備物			
CD、歌詞カード、衣装、ポンポン等 (小学部第1学年保護者が必要な物を準備)			
3 PTAコーラスの内容			
(1) 学校祭のオープニングイベントで実施			
(2) 歌を3曲披露(例年は2曲)			
・小学部第1学年保護者はダンスを中心に、PTA役員及び有志会員は歌を中心に披露 (小学部第1学年保護者はフロア、PTA役員及び有志会員は舞台上で実施)			
・歌「夢をかなえてドラえもん」「みんなのリズム」「ラッキーマンボ」			
・歌とダンスの披露の後、保護者より児童生徒へエールを送る。			
メール送信先	<a href="mailto:info@aichikoupren.org">info@aichikoupren.org</a>		

#### 4 当日の様子

PTAコーラスの保護者が、オープニングイベント会場である体育館に入場すると、子供たちから歓声が上がり、大きな手拍子と笑顔で迎えてくれた。ドラえもんなどの登場人物の衣装を用意したり、子供たちに親しみのある曲を選定したりしたことで、子供たちがPTAコーラスの保護者とともに大きな声で歌ったり、踊ったりして、その場を一緒に盛り上げてくれた。会場が温かく楽しい雰囲気に包まれ、一体化したように感じた。このイベントを通して、児童生徒もPTAコーラスに参加した保護者、教職員もこれから始まる学校祭に期待感を高めた。



(児童生徒の手拍子で一緒に盛り上がる会場)



(保護者が一丸となって最後にポーズ)

#### 5 来年度に向けて

PTAコーラスに参加した保護者からは、以下のような意見や感想をいただいた。

- ・授業参観日等の保護者が来校する日に練習時間を設けるなど、仕事をしている方も参加しやすい時間であったので、練習の出席率も高く、早い段階で振り付けを覚えることができた。
- ・振り付けには、練習用のDVDを作成して配付したので、仕事の都合で練習に参加できない方も家で練習することができ、リハーサルではスムーズに合わせることができた。
- ・当日は、子供たちが保護者とともに一緒に盛り上げてくれたのがうれしくて、感動した。子供たちに感謝したい。
- ・当日参加の方には、少しでも振り付けの練習ができるとよかった。また、歌詞カードなどを事前に保護者に配付しておくことで、本番に参加してもらえる保護者も増え、よりスムーズな発表ができるのではないかと思った。

PTAコーラスは、小学部1年生の保護者が中心に取組を展開しているが、保護者が一つのことを共通の目的をもってやり遂げることを通して、学年の保護者の仲間意識が高まったり、学年を超えた保護者同士のふれあいができたりして、保護者の良好な人間関係を築くことに役立っている。このような学校行事に主体的に参加した保護者は、他のPTA活動においても、よき理解者となり、協力的な姿勢を示してくれるようになる。今後も、このよき伝統を大切にしながら学校と協力・連携して、子供たちのためによりよい学校づくりに、PTAとして積極的に参画していきたい。